

世界一大きな授業 2016

すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

4月16日(土) ~ 5月31日(火)
開催



世界 100 か国以上の子どもたちと一緒に、**教育**について考える授業をしよう！

現在、世界で小学校に通えない子どもは 5,800 万人、読み書きができない大人は 7 億 8,100 万人もいます。2015 年 9 月に国連総会は、「持続可能な開発目標」(SDGs) を採択し、2030 年までにすべての子どもが質の良い幼児教育・初等教育・中等教育を受け、大人の識字率も大幅に改善することを新たな目標として掲げました。

「世界一大きな授業」とは、世界の教育の現状を世界中で同じ時期に学び、教育の大切さについて考えるイベントです。今年も世界 100 か国以上で開催し、参加者の声を各国政府に届け、教育政策に反映するように働きかけます。「すべての子どもに教育を」を合言葉に 2003 年にスタートし、2008 年には 885 万人が参加、ギネス記録にも認定されました。日本でも 2015 年には 7 万人以上が参加しました。

「授業」に参加して学校に通えない子どもたちの現状を知り、日本の私たちにできることを考えてみませんか？

参加型の教材を提供します

総合的な学習の時間、国際理解教育に。アクティブラーニングで、教育の大切さを実感しながら学ぶことができます。

- 📎 首相・外務大臣へ手紙を書くと、JNNEが日本政府に届けます。
- 📎 教材は複数のユニットで構成され、小学生から大人まで学べる内容です。
- 📎 ワークシートは、日本語版と英語版があります。
- 📎 ノーベル平和賞受賞者マララ・ユスフザイさんのスピーチや映画『わたしはマララ』の映像を活用した教材もあります。



高熱で
苦しむお母さん
にどれを飲ませた
らいい？



奈良県五條市立北宇智小学校

本とペンを手に取りましょう。
それが一番強い武器です。
1 人の子ども、1 人の先生、1 冊の本、
1 本のペンで世界を変えられる。
教育こそが唯一の解決策なのです。

2013 年 7 月、ニューヨークの
国連本部で行った演説より



©Alexandra Kensland Letelier / Plan
マララ・ユスフザイさん

今年の教材 3 つの特徴

1. 世界の教育目標はSDGs・ゴール4へ
新しい国際目標となった「持続可能な開発目標 (SDGs)」を反映した内容に。
2. ドキュメンタリー映画『わたしはマララ』の映像を活用
2015年12月公開の『わたしはマララ』の映像を通して、マララさんを知ろう。
レイズ ユア ボイス
3. 『Raise Your Voice!』が新登場
マララさんの呼びかけに応え、国会議員に意見を伝えるアクションです。

参加者募集中

4月16日(土) ~ 5月31日(火)の
期間内に、教材に沿って45分程度の授業
を実施していただける方を募集しています。
授業の場は学校に限らずサークルやグループな
ど、どなたでもご参加いただけます。
教材や資料は申込み後、事務局よりダウンロード
URLをE-mailでご案内します。
申し込み〆切: 2016年 5月25日(水)
参加費: 無料 ※申込方法は裏面をご覧ください。